

福岡県 半導体分野における地域産業クラスター計画の概要

1. 産業領域

半導体後工程産業領域

2. 対象エリア

九大学研都市地域である福岡市及び糸島市、ASEが進出を検討する北九州市、半導体製造企業が立地・集積する筑後市、うきは市、広川町

※上記を中心に県内全域にクラスターによる経済活動の波及を図っていく。

3. 目指す姿（目標）

本県が誇る半導体後工程の先進技術の研究開発を支援する国内唯一の公的機関「福岡超集積半導体ソリューションセンター」を核に、新生シリコンアイランド九州を牽引する半導体後工程のグローバル拠点構築を目指す。

目指すべき目標（KGI）＜R8年度～R17年度＞

- ・官民設備投資額：累計4,960億円（目標年度は496億円）
- ・付加価値増加額：1,200億円（目標年度は120億円）
- ・産業人材育成数：累計80,000人（目標年度は8,000人）

4. 勝ち筋

- ・微細化の限界を打破する最先端後工程技術の開発支援体制を強化し、県内企業の新規参入と後工程関連の新たな産業集積を図る
- ・光電融合、パワー半導体の高密度パッケージといった次世代技術の実現に向けた産学官連携による共同開発と社会実証
- ・アジアの半導体メーカーとネットワークを構築し、県内企業のグローバルな取引を促進
- ・高度半導体技術人材の育成・輩出



5. 政策手段

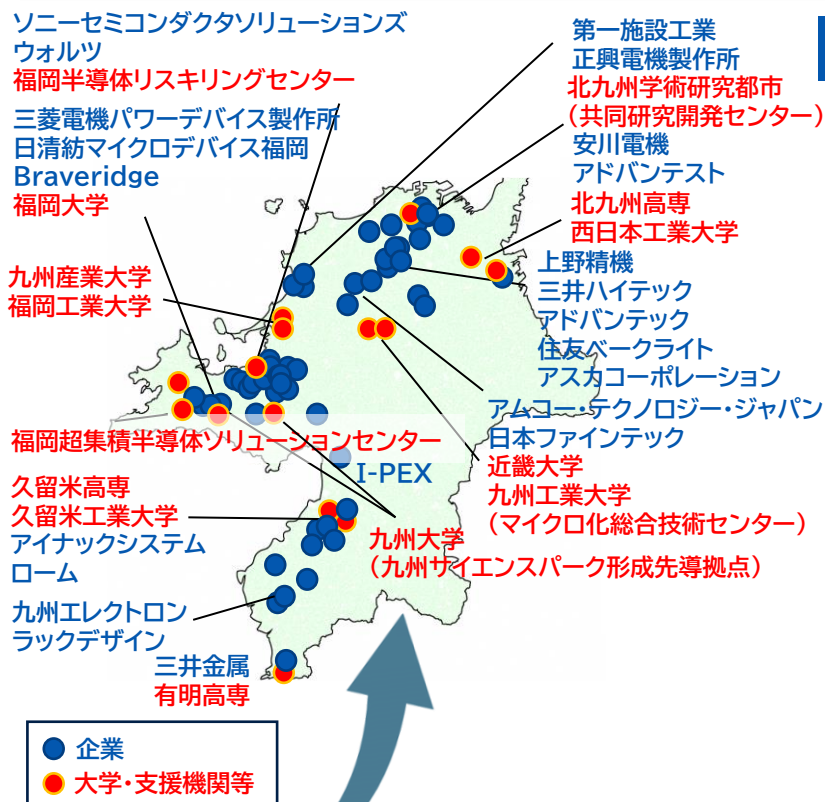
（1）課題

- ・後工程サプライチェーンへの県内中小企業参入強化
- ・急速な技術進化に対応可能な支援体制の整備
- ・慢性的に不足する半導体人材の充実
- ・後工程サプライチェーン強化に貢献する大手企業の誘致

（2）政策パッケージ

- ・県内企業の技術開発支援の強化や、大手企業とのマッチング機会の拡大
- ・産学官連携による先進的な共同研究開発推進や、公的支援機関の機能強化・充実
- ・半導体技術人材育成システムの強化
- ・交付金や特区の優遇措置による支援

福岡県「半導体産業分野における地域産業クラスター計画」における地域内の集積状況



核となる事業者

●中核となるグローバル企業

三菱電機株式会社、
株式会社アムコー・テクノロジー・ジャパン
ほか12社



【三菱電機パワーデバイス製作所】

●ユーザー企業

株式会社正興電機製作所、
株式会社Braveridge
ほか13社



【Braveridge】
(IoTデバイス)

●装置製造企業

上野精機株式会社、
日本ファインテック株式会社
ほか16社



【上野精機】
(半導体検査装置)

●材料、部材製造企業

I-PEX株式会社、
アスカコーポレーション株式会社
ほか16社



【アスカコーポレーション】
(金属表面処理)

計61社

福岡超集積半導体ソリューションセンター



▲センター外観

- 半導体の微細化が限界を迎えつつある中、三次元実装やチップレット集積等の設計・試作から評価・解析及び実証までをワンストップで支援する国内唯一の公的機関
- これまでに約270社、5,000件以上の研究開発を支援
- 半導体の材料分野において日本を代表する研究者である知京 豊裕(ちきょう とよひろ)氏をセンター長として招聘